

指定管理施設自己評価・内部評価・外部評価シート

評価対象年	令和7年度	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで			
施設名	クアーズテック秦野カルチャーホール（秦野市文化会館）	指定管理期	令和4年4月1日 から 令和9年3月31日 まで		
指定管理者	みんなの文化会館秦野パートナーズ	施設所管課	文化スポーツ部文化振興課		

【自己評価及び内部評価の基準】

- 3 協定書、仕様書等の要求水準を上回っており、優れた点がある。
- 2 要求水準を満たしている。
- 1 要求水準を概ね満たしているが、一部課題がある。
- 0 要求水準を下回っており、改善指導等が必要である。

【外部評価の考え方】

- 《大変良好》
管理・運営は大変良好で、また優れた取組みの成果がある。
- 《良好》
管理・運営は良好である。
- 《概ね良好》
管理・運営は概ね良好であるが、その一部に課題がある。
- 《要改善》
管理・運営に課題があり、改善が必要である。

I 施設の維持管理

項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況
施設の維持管理	協定書や仕様書等に従い、設備・機器等の保守管理が適切に行われ、利用者が安全で快適に利用できる状態が保たれている。	3	2	2	【自己評価】 設備機器の保守点検は法令に則って計画通り実施。第三者委託業務も仕様書に基づき実施、設備職員が現場に立ち会って監督した。また設備職員による日常点検、舞台職員の自主点検も適正運用した。 休館中も施設・敷地の清潔・美観を保つため、日常・定期清掃を継続。再開館後は清潔な状態で利用者をお迎えできた。 備品は開館に備えて総点検を実施し、不具合は修理対応した。秦野市からの備品貸出にも対応、市の財産が破損なく返却されるよう管理徹底した。 大規模改修が円滑に進行するよう工事業者との調整・連携業務を実施した。 開館前には、大規模改修で実施されなかった音響照明機材の不具合、返却されたピアノの不具合、工事の影響とみられる設備の不具合を事前に察知し、再開後の事故を未然に防いだ。
施設の修繕	協定書や仕様書等に従い、指定管理者で行う修繕が適切に実施されている。	3	3	2	
清掃・衛生管理	協定書や仕様書等に従い、清掃・衛生管理を適切に行い、施設が清潔に保たれている。	3	2	3	
備品の管理	備品及び附帯設備等が適切に管理されている。	3	2	3	【内部評価】 工事期間中も立ち入り可能な部分の清掃、点検を行ったほか、休館に伴い別会場で実施する事業への物品の借用対応も行い、市の事業運営にも貢献した。 また、工事に伴い、工事主管課や工事業者との調整も行い、円滑な工事施工の一助となったほか、開館時にはできない舞台備品の保守等を行った。
第三者委託	第三者への委託に係る取扱いは、協定書や仕様書等に基づいた適切なものである。	3	2	2	
環境配慮	省エネやリサイクル等、環境に配慮した取組みを行っている。	3	2	2	
小計		18	13	14	

2 施設の運営					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況（内部評価）
設置目的等の理解	施設の設置目的や役割、協定書や仕様書等の内容を従事者全員が理解し、運営している。	3	2	2	【自己評価】 休館の延長を余儀なくされる中、アウトリーチ型自主事業、予約抽選会の館外実施などを実施し、必要なサービスを継続した。 アウトリーチ型の自主事業では、文化鑑賞のニーズのあった公民館や学校、福祉施設をはじめ、自社ホールを無償活用して35回にわたって実施。地域人材との連携により、安価で質の高い内容とし、アンケートによる満足度も非常に高かった。広報にも継続して取り組み、開館時と遜色ない地域とのコミュニケーションを図った。
サービス提供	施設の設置目的と協定書や事業計画書等に沿ったサービスの提供を実施している。	3	2	2	
自主事業の成果	施設の設置目的に沿った自主事業が実施されており、またそれは利用者サービスの向上につながっている。	3	3	3	
個人情報の漏えい防止	個人情報を適切に管理し、漏えい等の防止策を講じている。	3	2	2	
地域との関わり	地域や関係団体と連携し、魅力ある施設づくりに取り組んでいる。	3	3	3	
市内事業者の活用等	市内事業者の活用や市民の雇用など地域への貢献がなされている。	3	2	2	
使用の承認並びに利用に係る料金の収受	協定書や仕様書等に従い、適正に利用の許可及び利用料金の収受が行われている。	3	2	2	【内部評価】 休館中は、学校や公民館等に出向き（アウトリーチ事業）、市民に質の高い文化・芸術の鑑賞機会を提供。本市で実施した全国報徳サミットでは、小中学校と連携し、丹沢讃歌のステージを作り上げた。また、「相模人形芝居」等の伝統芸能を身近に体験できる機会を設け、参加者からは好評であった。 新施設予約システムが2月から変更になった際は、リニューアルオープンの準備もある中での対応であったため、システムのチェックが間に合わない部分もあった。
小計		21	16	16	

3 危機管理対応					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況（内部評価）
事故発生時の対応	緊急事態発生時において、遅滞なく適切な処置を行うことができる体制となっている。	3	2	2	【自己評価】 消防計画に則り防災訓練を実施、設備の保守点検を通じ、安心安全な状態で開館した。
事故防止の対応	事故等を防止するために、日頃から積極的に取り組んでいる。	3	2	2	【内部評価】 日常点検、巡回警備、施設や備品の点検等を実施している。停電があった際も迅速に対応した。
小計		6	4	4	

4 指標の達成状況・改善の取組み					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況（内部評価）
指標の達成状況	（指標を設定している場合）指標の達成状況は適当である。	3	2	2	【自己評価】 休館中のアウトリーチ事業には延べ1,300人以上が参加。アンケートによる満足度も約99%と非常に高い結果が得られた。
改善の取組み	本市の点検や評価による指導等について、適切な改善が行われている。	3	2	2	【内部評価】 事業の動員数について事業計画書の年2,940人には達していないが、アンケートの観客満足度は90%を超えている。令和8年度については集客力のある事業の実施を期待したい。
小計		6	4	4	

5 サービス向上の取組み

項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況（内部評価）
利用者への案内	利用者への案内は、誰にでもわかりやすいものとなっている。	3	2	2	【自己評価】 休館中の館外抽選会のためにマニュアルや説明資料を作成するなど、開館中と遜色のない円滑な対応に努めた。 自主事業のアンケート結果（784件）では「大満足」と「まあ満足」を加えた満足度ではおよそ99%と非常に高い結果となった。 休館中も利用団体の活躍を自社媒体で紹介するなど、広報面から利用者サービスに努めた。 施設の利用促進では自主企画事業を中心に自社媒体やチラシ、ホームページ、SNSなどで情報発信、オリジナル冊子も作成し、文化会館事業のPRを図った。
利用しやすい環境整備	利用者にとって、利用しやすい環境整備に取り組んでいる。	3	2	2	
業務の標準化	業務マニュアル等を整備し、利用者対応にばらつきがないよう業務が標準化されている。	3	2	2	
接遇	利用者等に対して不快感を与えない適切な接遇が行われている。	3	2	2	
アンケート結果	利用者アンケート等の結果は、満足度の高い評価となっている。	3	2	3	【内部評価】 休館中も、タウンニュースやSNSを活用した広報を行った。タウンニュース秦野版「芸術文化通信harmonia」の発行や、「丹沢文化通信」での地域で活動する方々の紹介など、市内の文化芸術活動の発信も積極的に行い、地域に密着した広報活動を行っていた事は評価できる。 また、アウトリーチ事業においても、地元の人材を活用した事業展開を行った。普段、文化会館を利用しない方がアウトリーチ事業に参加したことにより、今後の来場者数に良い影響が現れることを期待したい。
サービスの質の向上	利用者の意向等を定期的に確認し、継続的にサービスの質の向上に取り組んでいる。	3	2	2	
施設の利用促進	パンフレット作成やホームページの更新などを工夫し、施設の利用促進に取り組んでいる。	3	2	3	
苦情等への対応	利用者からの苦情や要望等に対して、必要な改善に取り組んでいる。	3	2	2	
小計		24	16	18	

6 収支状況

単位：千円

年度 項目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	170,888	170,888	166,963	166,963	140,136	140,136	133,419	133,419		
	利用料金	25,000	15,605	25,000	15,625	4,000	5,083	500	244		
	自主事業	34,000	63,351	52,600	38,545	9,600	6,668	1,795	2,241		
	その他	250.00	6,652	10,632	2,123	21.00	534		326		
	計	230,139	256,497	255,196	223,258	153,757	152,421	135,714	136,230		
支出	人件費	30,190	28,624	28,452	37,993	33,660	36,659	40,246	36,459		
	維持管理経費	121,944	122,476	118,944	100,270	87,495	72,335	89,280	84,533		
	自主事業	31,535	82,684	50,000	44,672	10,716	11,201	6,178	4,677		
	その他	46,470	50,563	57,800	43,268	21,886	19,627	10			
	計	230,139	284,346	255,196	226,201	153,757	139,822	135,714	125,669		
総計（収入－支出）		0	-27,848	0	-2,942	0	12,599	0	10,561		

項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況（内部評価）
適正な 予算執行	収支計画書に基づき、予算の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われている。	3	2	2	【自己評価】 休館を理由に指定管理料を減額算定されたものの、維持管理業務の適正化、自主企画事業の内製化、簡易修繕の内製化、広報の効率化などを実施し、品質保持しながら効率化を図り、予算内で計画通り業務を実施した。 アウトリーチ事業では、企画制作の内製化、自社ホール施設の無償利用、地域人材との協業、収入確保策などにより、費用対効果を高めた。
経費の効率化	経費削減に向けた取組みを行い、またその内容は効果的なものである。	3	2	2	【内部評価】 工事による休館や物価高騰の影響がある中で、自主事業を実施しつつ、黒字となったことは評価できる。
	小計	6	4	4	

7 令和7年度 自己評価及び内部評価結果				
項目	配点	自己評価	内部評価	
1 施設の維持管理	18	13	14	
2 施設の運営	21	16	16	
3 危機管理対応	6	4	4	
4 指標の達成状況・改善の取組み	6	4	4	
5 サービス向上の取組み	24	16	18	
6 収支状況	6	4	4	
合 計	81	57	60	
配点に対する割合		70.4%	74.1%	

8 全体を通しての所見	
指定管理者所見	施設所管課所見
休館期間の延長を余儀なくされた中、施設の設置目的を果たすため、創意工夫で最大限の文化振興事業を継続できた。また、大規模改修後の原状復帰、開館に向けた準備や人員確保などの課題を整理し、無事に開館にこぎつけることができた。	休館という特殊な状況の中、アウトリーチ事業の実施により、市民への文化芸術に触れるの機会を提供した。令和8年度は、アウトリーチ事業に参加した方が、来館し、来場者数が増加するよう期待したい。

9 内部評価に対する外部評価	
外部評価	外部評価に係る意見
良好	特定天井等改修工事に伴う休館という制約がある中、アウトリーチ事業により地域での文化振興活動を行うとともに、施設管理や広報活動にも積極的に取り組んでおり、施設運営は良好であると評価する。 今後、さらに充実した施設運営につなげるため、次の点について一層の取組みを期待する。 1 自主事業について、多様な意見を取り入れ、若年層をはじめ幅広い世代の来館につながる、魅力と集客力のある公演の実施に向けて工夫されたい。 2 アウトリーチ事業やSNSを効果的に活用し、若年層の来館につながる取組みを進められたい。 3 館長のリーダーシップのもと、指定管理者内でのコミュニケーションを図るとともに、市民の声に迅速かつ丁寧に対応されたい。 4 近隣文化施設との情報共有を図り、事業の企画や実施に活用するとともに、文化庁等の各種補助金についても積極的な活用に努められたい。